

甲子園に向け ユニフォーム新調で心機一転



▲道具についての説明も受けた。



▲新しい靴を試着する。



▶練習着のサイズを確認する野球部員



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

7月27日に本校の被服室で、野球部の新しいユニフォームや練習着などの採寸が行われた。

本校野球部の夏の甲子園出場は4年ぶり2度目で、ユニフォームの採寸も4年ぶりに行われることになった。

部員たちは新しい練習着を試着したり、サイズを測定したりした。新しいユニフォームは以前のものとデザインは変わらないが、ストッキングの金のラインが1本増えて2本に変更された。これまでのストッキングには過去3回、春の甲子園に出場したことを表す赤のラインが3本と、過去1回、夏の甲子園に出場したことを表す金のラインが1本入っていた。

主将の松井拓真君（3ー5）は採寸を終え「ユニフォームが新しくなるのは甲子園に出場するためだ。ようやくここまで来ることができたのだと実感した」と笑顔で話した。増居翔太君（2ー4）は「甲子園に向けて心機一転して頑張りたい。ユニフォームを新しくしてもらった分、しっかりと

力を発揮したい」と意気込んだ。原晟也君（3ー8）と高村真湖人君（3ー8）は「甲子園に行くのだから、きっちりした服装で気持ちを切り替えて試合に臨みたい」「ユニフォームの採寸は初めての経験なので新鮮。それくらい大きな舞台に立たせてもらえるということなので、みんなに感謝したい」とそれぞれ話した。



▲従来のストッキング



▲新調されたストッキング